



## 平成 28 年度大学改革シンポジウム開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会  
会長 里見 進（東北大学長）

平成 28 年度大学改革シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本の国立大学は、平成 16 年度の法人化以来、優れた教育や特色ある研究を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう各大学が工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。

国立大学協会では、このような国立大学が果たす役割や存在意義の重要性について広く社会の理解を得るため、平成 20 年度から、優れた内容のシンポジウムを当協会の共催とし、経費や広報の一部を支援しております。また、国立大学や大学共同利用機関が実施する教育、研究、地域貢献などの各種活動を社会の皆様にご理解いただくため、平成 22 年度から、10 月及び 11 月の 2 か月間を「国立大学フェスタ」と銘打ち、この期間に各国立大学等が地域と連携しながら実施する、シンポジウムやオープンキャンパス、公開講座、市民講座などの様々な活動を集中的に皆様方に紹介しております。こうした活動を展開することによって、真に実効性のある国立大学の改革や存在意義等について引き続き、地域、社会、産業界等、広く国民の皆様のご理解をいただくよう努力してまいります。また、国立大学自身も、皆様方のご期待に応え、高い付加価値を生み出す大学を目指して一層努力いたしますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

本日開催される大学改革シンポジウムは、関係大学のご尽力により魅力ある内容となりました。地元の自治体、政財界、地域の皆様にご理解いただくとともに、意見交換の場とも位置づけておりますので、貴重な情報や人脈を得る機会として活用いただけることを期待しております。

最後に、本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。